

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 感染症発生動向調査費（PCR検査委託分）（臨時）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部感染症対策推進課 検査対策係 電話番号：058-272-1111(内3348)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,837,044 千円 （前年度予算額： 1,405,490 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,405,490	679,768	0	0	0	0	0	0	725,722
要求額	1,837,044	877,607	0	0	0	0	0	0	959,437
決定額	1,837,044	877,607	0	0	0	0	0	0	959,437

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・新型コロナウイルス感染症のまん延防止及び本人に対する治療の観点から、令和2年3月6日からPCR検査が、同年5月13日から抗原検査が保険適用され、当該検査費用の自己負担相当額を公費負担することとされている。（令和2年3月4日付け：健感発0304第5号）
- ・また、自己負担相当額の審査及び支払い事務は、社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会に委託し実施することとされている。（令和2年3月25日付け：健感発0325第1号）
- ・新型コロナウイルスに感染したおそれのある者に対して、検査が確実に実施できるよう、公費負担による検査体制を継続する必要がある。

（2）事業内容

- ・新型コロナウイルス感染症に関し感染症法第15条に基づく調査に関する委託契約を県と締結した医療機関が、診療報酬の対象となる検査を行った場合に、患者の自己負担相当分を県が負担する（岐阜市内を除く）。
- ・審査及び支払事務について、社会保険診療報酬支払基金岐阜県支部及び岐阜県国民健康保険団体連合会に委託する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2、県 1/2 (検査費分)

県 10/10 (事務委託分)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,837,044	検査費用公費負担及びそれに伴う審査支払事務委託
合計	1,837,044	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針 (R4.9.8改定) p57

「かかりつけ医等の地域で身近な医療機関や受診・相談センターを通じて、診療・検査医療機関を受診することにより、適切な感染管理を行った上で、新型コロナウイルス感染症が疑われる患者への外来医療を提供すること。」

(2) 後年度の財政負担

現時点では、公費負担の枠組みの終期は不明である。

(3) 事業主体及びその妥当性

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく調査として、全国の都道府県や保健所設置市等での対応が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

医療機関における検査の自己負担を無料にすることにより、症状を有する全ての者が支障なく検査を受けられる環境を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

検査件数は新型コロナウイルス感染症の流行状況に対応するものであり、県がコントロールできない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 56,917件の検査に対して患者の自己負担相当額（合計192,482千円）を負担した。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 273,736件の検査に対して患者の自己負担相当額（合計810,889千円）を負担した。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	第7波以降の流行の可能性が否定できない状況であり、現時点で診療・検査体制が見直される見通しはない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	797医療機関(9/20現在)において、保険診療による検査が可能であり、身近な医療機関で検査を受けられる体制が整備されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	診療報酬の審査・支払と併せて実施することで、効率的な執行が行われている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わり、まん延防止のための行政検査が不要となるまで継続すべき事業。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	